

## 2020 年度事業 22 年度末報告書（実行団体）

- 提出日 : 2023年4月3日
- 事業名 : 麒麟のまち地域食堂ネットワーク構築事業
- 資金分配団体 : 一般社団法人全国食支援活動協力会
- 実行団体 : 鳥取市地域食堂ネットワーク

### 実績値

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況 *
0101.ロジ拠点（共同事業体あるいはコンソーシアム）が解決すべき課題を共有できている	①ロジ・ハブ拠点の管理を担うメンバー構成が十分かどうか ②課題の共有がされているか	①ネットワーク会議に参画する企業や行政が生まれている ②物品の受入れ配布等システム化に向けて共有化の構築を図っている	2024年 2月	① ロジ拠点の管理は、地域食堂ネットワークと鳥取市中央人権福祉センターの職員1名（鳥取市フードサポート事業担当者）と行っている。ハブ拠点は、河原人権福祉センター、気高人権福祉センター、新温泉町社会福祉協議会の職員が行う。寄贈食品は、地域食堂（こども食堂）へ毎週金曜日に配送する。また、高齢者、生活困窮者等への食料等支援も行っている。 ② 食支援システムを運用するために、ロジ・ハブ拠点の担当者（河原人権福祉センター、気高人権福祉センター、新温泉町社会福祉協議会）とオンラインで説明会を行い、運用を開始する。 寄贈食品の配分数等については、食支援システム	2 2

				やメール、電話で確認を行う。	
0102. ロジ拠点 が協働して事業を 振り返り、改善 させている	①会議事録の内容 ②参画団体・機 関が継続的なコ ミュニケーション を図っているか	ネットワーク会議 や食フェスタを通 じて事業終了後 もコミュニケーション できる協力関係 の素地が生まれて いる	2024 年 2 月	食支援システムの 導入説明会 令和4年6月15日 10時～12時 参 加者：鳥取市地 域食堂ネットワ ーク1名、中央 人権福祉センタ ー1名、河原人 権福祉センター 3名、気高人権 福祉センター3 名、新温泉町社 会福祉協議会2 名、全国食支援 協力会 操作方法につい て不明な点等は 、電話連絡で確 認をする。寄贈 された食品の活 用方法など情報 交換を行っている。 令和5年1月25 日（1回目）、2 月15日（2回目 ）に食でつなが るフェスタ in と っとり実行委員 会を開催した。第 1回目参加者は 13名。主に食フ ェスタで講演す る登壇者が集ま り、進捗報告の 後にタイムスケ ジュールの確認 や、シンポジウ ムについて進行 も含めた質疑応 答をした。協議 事項としていた 、パネルディス カッションの内 容については次 回の実行委員 会で方向性をま とめる事になっ た。第2回目参 加者は18名。登 壇者以外にも、 協力団体や支援 団体にも声掛け をして幅広い方 に集まって頂い た。参加者同士 での情報交換を 元に繋がりが出 来る等、食フェ スタ以外に波及 した事は効果的 だった。進捗報 告の後に、食フ ェスタと同時開 催をする支援企 業のアクシス様 より事業とネッ トワークへの支 援や企業でのサ ービスについて 説明があった。協議事項のトークデ	2 2

			<p>         イスカッションの内容は、1部と2部の講演から、登壇者が課題解決をする他、団体の活動紹介を通して、会場に集まった方へ地域食堂の意義や役割について紹介をする事となった。       </p> <p>         令和5年2月16日、琴浦町 赤碕文化センターにて食のネットワーク構築のための鳥取県中部勉強会を開催した。参加者は16名。地域の高齢者サロンの主催者や琴浦町議員等、地域住民の参加者が中心。河原人権福祉センターの大門所長から、ネットワーク構築プロジェクトについて説明の後に、赤碕文化センター西村所長と職員の澤田様より文化センターで開催していることも食堂について経緯の説明後、質疑応答をした。中部で初の勉強会であり、意見が活発に出て今後の連携に生かせる会になった。       </p> <p>         令和5年3月11日、鳥取空港コナンホールにて食でつながるフェスタ in とっとり 2023 を開催した。       </p> <p>         地域の子育て世代を集客するために、オープニングイベントでキッズダンスを企画する等、最大100名の方が来場するイベントとなった。支援企業のアクシス様のフードデリバリーサービスの「トリメシ」加盟店による出店(同時開催として実施、食フェスタとは別の扱い)があり、シンポジウムで講演を聞きながら飲食をする来場者もあり、鳥取空港の担当者からも初の取り組みで成功した会だとお褒めの言葉を頂いた。会場には地域食堂のポスター展示や、支援企業       </p>	
--	--	--	--	--

				のポスター・商品展示ブースも設けて、鳥取の地域食堂を知って貰うための機会となった。	
0201. 協力してくれる企業・団体が増える	協力企業・団体の数と支援内容のバリエーション	50団体 麒麟のまち圏域の地域食堂等の居場所とコラボする企業の社会貢献活動のバリエーションが豊富になる	2024年 2月	令和4年4月現在39団体。22年度も企業・団体から継続的に支援を受けている。 詳細は別添資料参照 地域食堂ネットワーク参加者一覧表 令和5年4月現在51団体。 別途資料参照	2 2
0202. 麒麟のまちの圏域を超えた他市町との連携が生まれる	①窓口体制がある ②事業に協力・対話関係にある市町の数	①担当コーディネーターが配置されている ②事業に協力・対話関係にある市町が増える	2024年 2月	① 担当者の配置状況 ロジ拠点に地域食堂ネットワーク職員2名配置 ② 麒麟のまち圏域以外の対話関係にある市町 琴浦町、倉吉市、米子市、鳥取県隣保館連絡協議会。	2 2
0203. 資金分配団体や他ロジ拠点同士が連携することにより、情報が集まる	会議や出張への参加状況	定期的に参加している状態	2024年 2月	令和4年7月15日、休眠預金事業中間評価事前研修オンラインで2名参加 令和4年9月14日～15日、合同研修@長野に職員を1名派遣し、ロジ拠点の視察、他県ロジ拠点の取組や意見交換を行った。 令和4年11月12日、共食でつながるフェスタながの オンラインで1名参加 令和5年1月30日全国食支援活動協力会実行団体必須研修 シンポジウム「居場所からはじめる地域共生社会実現に向けて一食・学習・包括支援の実践よりー」、職員1名を東京会場へ派遣し、子ども若者支	2 2

				<p>援における中間支援組織の役割と意義について、先進的に取り組む団体からの講義を通して理解を深めた。</p> <p>令和5年2月28日・3月1日、休眠預金事業 通常枠実行団体 合同集合研修会、東京会場で1名参加。事業成果の報告・振り返りを通じた学び合い、来年度の広域的な事業連携について意見を交換した。</p>	
0301. 食品寄付等を受け止められて分配する環境が整備されている	ロジハブ拠点の機能が十分にある	運搬用車両を確保している 地域で倉庫貸与や物流に協力してくれる人・団体が生まれている	2024年 2月	<p>食品の配送については、所有の運搬車で行っている。食品の保存・管理は、ロジ拠点：鳥取市人権交流プラザ内食料庫、ハブ拠点：河原人権福祉センター、気高人権福祉センター内、新温泉町社会福祉協議会施設内で行っている。</p> <p>今後、遠方の配送について運送会社と協議を行う予定である。</p> <p>24時間テレビ「愛は地球を救う」の子ども食堂・子どもの居場所支援事業により、琴浦町の赤碕文化センターに冷蔵庫等が寄贈されたことにより、鳥取県中部に新たにハブ拠点が出来た。</p> <p>令和5年3月中にも新たに3施設に冷凍冷蔵庫、米の低温貯蔵庫を設置した。新たにハブ拠点に加わったのは八頭町 中央人権啓発センター、倉吉市 はばたき人権文化センター、米子市 下福万隣保館。</p> <p>兵庫県から島根県境の米子市まで、日本海岸沿いに食のネットワークが構築されたので、今後は食材の受け入れに注力していく。</p>	2 2

0302. 支援地域内の仕分け、配送に協力してくれる担い手がいる	各市町への配送体制が確立されているか	各市町への配送体制が確立されている	2024年 2月	毎週金曜日にネットワークスタッフが、各食堂に仕分けする。鳥取市内の5食堂へは、鳥取福祉会が毎週金曜日に配送する。残りは、人権福祉センター職員、食堂運営スタッフが受け取りに来所する。周辺町へは、所有の配送車で運搬する。	2 2
0303. ハブ拠点が安全に管理されている	ロジ・ハブ拠点が食品の取扱ルール等を活用し、適切に運営できているか	ロジハブ拠点で在庫管理、適切な食品の取扱に関して担当する人がいる	2024年 2月	ロジ拠点については、地域食堂ネットワークと中央人権福祉センターで行う。ハブ拠点は、ハブ拠点施設の職員が管理している。	2 2

\*進捗状況：1 計画より進んでいる、2 計画どおり進んでいる、3 計画より遅れている、4 その他

## ② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
2.概ね達成の見込み
2.アウトカムの状況
A：変更項目 <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの内容 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの表現 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの指標 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値
5.新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点
説明会は、オンラインで実施。

### ③ 広報（※任意）

1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）

令和4年9月 Twitter で情報発信を開始

令和4年11月から、地元 FM 局にて月に一度放送される（再放送は毎週末）ラジオ番組を開始

令和5年1月団体 HP 公開

令和5年1月団体 YouTube アカウント開設、FM 放送のアーカイブを投稿

令和5年3月食でつながるフェスタ in とっとり 2023 日本海ケーブルテレビ番組内で紹介

2.広報制作物等

令和5年3月麒麟のまち地域食堂ネットワーク構築プロジェクト PR 動画作成、団体 YouTube で公開

3.報告書等

### ④規程類の整備に関する報告

1. 事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
<input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 整備中
2. 整備が完了した規程類を web サイト上で広く一般公開していますか。
<input type="checkbox"/> 全て公開した <input type="checkbox"/> 一部未公開 <input checked="" type="checkbox"/> 未公開 →「一部未公開」「未公開」を選択した場合の理由と公開予定日： 整備完了後に公開予定
3. 変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。
<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由： 規定類に変更ありません。

⑤ガバナンス・コンプライアンスに関する報告

1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。

はい    いいえ

→ 「いいえ」を選択した場合の理由：